

東京国立 博物館 ニュース



3ページに
掲載してるほ!



特別展 Information

「特別展 顔真卿 王羲之を超えた名筆」

「特別展 国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅」

「特別展 御即位30年記念 両陛下と文化交流
—日本美を伝える—」

「特別展 美を紡ぐ 日本美術の名品
—雪舟、永徳から光琳、北斎まで—」……2

「博物館でお花見を」……4~5

「特集 上杉家伝来の能面・能装束」／

「特集 東京国立博物館コレクションの
保存と修理」……6

総合文化展 Pick up!

(本館／東洋館／黒田記念館／平成館／法隆寺宝物館)……7~11

保存と修理情報⑥ ……9／みどりのライオン(教育普及事業)……12~13

トーハクくんのなるほトーハク ……13／イベント&インフォメーション ……14~15

2019年2-3月の展示・催し物 ……16



今号の名品

「色絵桜樹図皿」



特別展 Information



（拡大図）
孟法師碑—唐拓孤本—
 褚遂良筆
 唐時代・貞観16年(642)
 東京・三井記念美術館蔵
 55歳の時にこの拓本を入手した李宗瀚は、同年に「李氏の四宝」と定めました

特別展

「顔真卿 王羲之を超えた名筆」

至宝の「四宝」、100年ぶりに勢ぞろい

1月16日(水)
 ▼
 2月24日(日)
 平成館
 特別展示室

唐時代、書を志す人は石碑を拓本にとってお手本としていました。顔真卿も、名跡の拓本を手本として、書を学んでいたはず。石碑は風雨によって表面が損傷し、次第に文字が見えなくなり、甚だしい場合には石碑そのものが壊れてしまいます。石碑ができてまもない拓本は、文字の輪郭が明瞭で珍重されますが、時代とともに壊れ、拓本が一つしか存在しない孤本は、とてつもなく貴重でした。本展では、孤本コレクターであった李宗瀚の孤本を展示します。

清時代に臨川(江西省)の李氏一族に生まれた李宗瀚は24歳で科擧に合格した官僚ですが、祖父の莫大な財産を受け継ぎ、次々と拓本の名品を購入しました。当時の政界・学界に君臨し、拓本に詳しい翁方綱ですら、孤本は手が出ないほど高価でした。李宗瀚は翁方綱の教えを受けながら、素晴らしい拓本のコレクションを作り上げ、55歳の時にその中から四つの孤本、啓法寺碑、孔子廟堂碑、孟法師碑、善才寺碑を「李氏の四宝」と定めました。このたび、100年ぶりに「李氏の四宝」がそろいます。ご期待ください。(富田淳)

観覧料：一般1,600円(1,300円)、大学生1,200円(900円)、高校生900円(600円) * ()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) /お問合せ: 03-5777-8600 (ハローダイヤル) /展覧会公式サイト <https://ganshinkei.jp/>

特別展 御即位30年記念 「両陛下と文化交流 —日本美を伝える—」

日本美を伝える、皇室ゆかりの作品

天皇陛下御即位30年を記念して、宮内庁三の丸尚蔵館が所蔵する皇室ゆかりの作品の中から、天皇陛下御即位に際して東山魁夷、高山辰雄が制作した「悠紀・主基地方風俗歌屏風」をはじめ、天皇皇后両陛下が外国を御訪問された際に、文化交流活動の中で御紹介されてきた、日本の美を代表する名品の数々を展示します。(今井敦)



悠紀地方風俗歌屏風
 東山魁夷筆 平成2年(1990) 宮内庁用度課所管 展示期間:3月5日(火)~31日(日)
 大嘗祭で神饌に供される新穀を出した秋田の風景が描かれています

特別展 「美を紡ぐ 日本美術の名品 —雪舟、永徳から光琳、北斎まで—」

雪舟、永徳、光琳、北斎の名品、一堂に

宮内庁三の丸尚蔵館、文化庁、そして東京国立博物館が所蔵する日本美術の名品を、選りすぐり展示します。狩野永徳筆で、皇室ゆかりの名品である「唐獅子図屏風」を会期前半に、晩年の名品である「檜図屏風」を会期後半に公開するのに加えて、雪舟、尾形光琳、葛飾北斎らの名品を、一堂にご紹介します。(今井敦)



● **檜図屏風**
 狩野永徳筆 安土桃山時代
 天正18年(1590)
 展示期間:5月21日(火)~6月2日(日)
 安土桃山時代の豪壮な気風を伝える狩野永徳の代表作です

3月5日(火)
 ▼
 4月29日(月祝)
 本館特別
 4室・5室

特別展 「国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅」

東寺のマンダラワールドを体感!



今回の展示では、仏像曼荼羅だけでなく、両界曼荼羅の代表的作例が出品されることも見どころです。

なかでも、国宝 両界曼荼羅図(西院曼荼羅【伝真言院曼荼羅】)は、仏・菩薩等の表情や姿勢、肉身の強い量取り、鮮烈な彩色がインド風を濃厚に感じさせる、現存最古の彩色両界曼荼羅図です。従来、日本製とされていますが、近年では中国製とする説もあるほど、その表現・技法は前後の時代の日本の仏画からは際立って独特のものです。(沖松健次郎)

● **両界曼荼羅図(西院曼荼羅【伝真言院曼荼羅】)**
 平安時代・9世紀 東寺蔵 展示期間:4月23日(火)~5月6日(月・休)
 宮中真言院で使用されたという伝承から「伝真言院曼荼羅」と呼ばれる

観覧料：一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) * ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) *前売券は2019年1月15日(火)~3月25日(月)、当館正門チケット売場(窓口、開館日のみ。閉館の30分前まで)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドほかにて販売 /お問合せ:03-5777-8600 (ハローダイヤル) /展覧会公式サイト <https://toji2019.jp/>

関連イベント
 ① 記念講演会「東寺の歴史と真言密教の至宝」
 日時:4月27日(土)13:30~15:00 (13:00開場予定) 講師:新見康子(東寺文化財保護課長)
 ② 記念講演会「東寺と仏像曼荼羅」
 日時:5月11日(土)13:30~15:00 (13:00開場予定) 講師:丸山士郎(当館 特別展示室)
 会場:平成館大講堂 定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
 聴講料:無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。講演会当日以前に入館済みの半券でも可。その場合は別途当日の入館料が必要)
 申込方法: 復便はがきの「往信用裏面」に、(1)希望する講演会の番号(①、②のいずれか)、(2)参加者全員(2名までの)氏名・ふりがな、(3)代表者の郵便番号・住所、(4)代表者の電話番号を、「往信用裏面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申込みください。なお、申込は各回お1人(または1組)につき1通までです。
 申込先:〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-6 りそな九段ビル5F(株) OHANA 内
 「東寺展広報事務局」(①、②いずれか) 係
 申込締切:①3月11日(月) 必着 ②4月1日(月) 必着 ※詳細は公式サイト参照。

今号の名品

2019年2-3月号

いろ え おうじゅ ず さら
色絵桜樹図皿

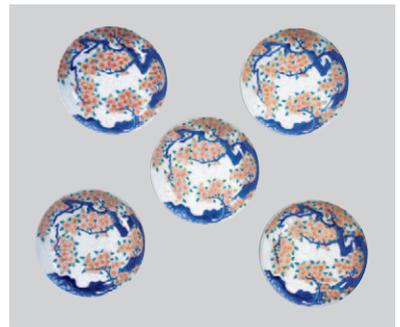
1月29日(火)～4月21日(日)
本館8室

ひょう おおかわ ち やま
「秘窯の里」、大川内山。門外不出の最高技術



いろ え おうじゅ ず さら
色絵桜樹図皿 鍋島 江戸時代・18世紀

爛漫と咲き乱れる桜の図が描かれています。皿という円形の画面を利用して、洗練された構図となっています。佐賀の鍋島藩が、將軍家への献上や、幕閣、大名、公家などへの贈答用に焼いた、いわゆる色鍋島です。



色絵桜樹図皿 (5枚)

ていたことから、中国より来航する船から唐物を買って將軍家に献上し、その中には景德鎮窯の磁器も含まれていました。ところが、1644年に清によって明が滅ぼされると、王朝交替に伴う混乱の中で中国からの磁器輸入が途絶し、將軍家に献上する中国磁器が入手できなくなってしまう。

一方、朝鮮半島から渡来した陶工によって磁器の原料である陶石が発見され、1610年代に肥前有田において磁器の生産が始まりました。そこで、鍋島藩は有田において景德鎮磁器に匹敵する水準の磁器を焼成し、將軍家に献上することを目論みます。有田の陶工たちは期待によく応え、將軍の御眼鏡にかなう精巧な磁器の開発に成功します。

また、中国からの磁器の輸入が停止したことにより、日本国内の磁器の市場を有田産の磁器が席巻することとなりました。將軍家に献上する藩窯の磁器は、民窯の磁器との差別化が必要になります。そこで、有田の北方約5キロの、峻険な山に囲まれた伊万里の大川内山に藩窯を移し、優れた工人を集め、技術の秘密保持などの管理体制を作り上げました。鍋島焼の完成です。

鍋島藩窯では最高の技術を用い、厳格に規格が守られました。高台の高い木盃形の皿が主体であり、大きさは径1尺、7寸、5寸を基本としました。文様は染付の藍と、上絵の赤、緑、黄の4色を用いるのが通例で、赤い線描きは薄い染付の下描き線に沿って引かれています。このため、この皿のような5枚組の例でも、寸分違わぬ文様が描かれています。鍋島家に伝わり、享保3年(1718)の年記のある『図案帳』に同じ図柄が確認されています。(今井敦)

『東京国立博物館ニュース』
名品スタンプ

- ★設置場所: 本館インフォメーション
- ★設置期間: 2月1日(金)～3月31日(日)
- *記念品付きの「名品スタンプラリー」は終了しました。

ユリノキちゃん
東京国立博物館 公式キャラクター



トーハクくん 東京国立博物館 公式キャラクター

博物館で

お花見見も

節分を過ぎると暦の上ではもう春。今年も恒例の「博物館でお花見を」を開催します。本館では、桜をモチーフにしたさまざまな日本美術の作品、また本館北側の庭園では約10種類の桜が順に時期を違えて咲き誇ります。関連の春イベントも盛りだくさん。上野公園の喧騒を少し離れ、トーハクで日本の春をご堪能ください。

3月12日 火
↓
4月7日 日

3月25日(月)は特別開館です！

桜イベントで

アクティビティにお花見も

特記以外はすべて参加無料(ただし、当日の入館料が必要)、事前申込み不要です。

●桜スタンプラリー

展示室をめぐって、5つのスタンプを集めてください。すべてのスタンプを集めた方にオリジナルバッジをプレゼント。「博物館でお花見を」期間中、毎日開催します。バッジは全部で2種類ご用意しています。台紙の配布・バッジの引換え場所：本館エントランス(バッジの引換えは10:00~閉館まで)

●鑑賞ガイド

桜をモチーフにした作品の見どころをダイジェストでご紹介します。

日時：3月22日(金) 14:00~14:30
講師：丸山猶計(教育講座室長)

日時：3月29日(金) 14:00~14:30
講師：阿部楓子(教育講座室アシエイトフェロー)

会場：いずれも本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

●桜ギャラリートーク

「器を彩る桜―伊万里と京焼」江戸時代を代表するやきもの、伊万里と京焼の名品から、桜を中心に春の花が配された作品をご紹介します。

日時：3月12日(火) 14:00~14:30 場所：本館8室
講師：三笠景子(平常展調整室主任研究員)

●絵画に咲く桜

桜を描いた展示作品の見どころをご紹介します。

日時：4月2日(火) 14:00~14:30 場所：本館7・8室
講師：大橋美織(絵画・彫刻室研究員)

●月例講演会/桜セミナー

「国宝」花下遊楽図屏風」を読み解く
花下遊楽図屏風は、桜の下での饗宴の様子を描いた名品です。画面構成の特色や鑑賞のポイントをくわしく解説します。

日時：4月6日(土) 13:30~15:00 講師：高橋真作(絵画・彫刻室研究員)
*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料(ただし当日の入館料が必要)
*開場は開始の30分前

●ボランティアによるガイドツアー

桜にちなんだ作品や構内の桜など、さまざまなテーマで「トーハクの桜」をご案内します。

*ガイドツアーの種類と日時は本誌16ページ(3月分は今号、4月分は次号)、当館ウェブサイトでご確認ください。

●東博旬会「花見で一句」

桜咲く庭園や桜をモチーフにした作品をテーマに一句詠んでみませんか? ご応募は当館敷地内4か所に設置されたポストまで。入選作品は本誌8・9月号と当館ウェブサイトで発表し、記念品を贈呈します。「博物館でお花見を」期間中毎日受付。

●桜ワークショップ「春らんまん 桜ぬりえ」

桜をモチーフにした作品のぬりえです。思い思いに色をつけ、自分だけの春らしい作品をつくってみよう。展示室にある作品の色づかいにも注目してみてください。

日時：3月27日(水)~31日(日) 各日11:00~16:00
*ぬりえシートがなくなり次第終了
会場：本館2階ラウンジ

トーハク 春さんぽ

花を求めて 本館をぶらり



18室 月夜の桜に跳ねる鯉

●花下躍鯉

飯島光峨筆 明治7年(1874)
展示期間：3月5日(火)~4月14日(日)
ぼんやりとした背景に、桜花と鯉が極めて細かく描き込まれて幻想的な月夜の様子となっています



13室 中央に桜を一枝

●色絵桜人物文大皿

伊万里 江戸時代・18世紀
3月19日(火)~6月9日(日)
中央に桜の折枝を、周囲には桜と藤を描き、余白は建物と女性像がすぎ間なく



(部分)





10室

たなびく霞に、 永遠の春を願う満開の桜

打掛 鶺鴒色縮緬地桜風景模様

江戸時代・18世紀
展示期間：2月26日(火)～4月21日(日)
理想をあらわした桜の風景は女性の日常の打掛



楽しそうだほー



8室

大きな枝垂桜を 全体にデザイン

枝垂桜蒔絵棗

江戸時代・17世紀 広田松繁氏寄贈
展示期間：1月29日(火)～4月21日(日)
量産品の素朴な姿が茶人に好まれました



2室(国宝室)

日本のお花見を描いた名品といえこれ!

花下遊楽図屏風

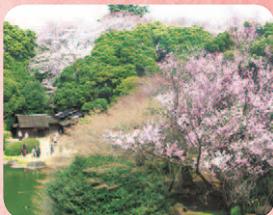
狩野長信筆 江戸時代・17世紀
展示期間：3月12日(火)～4月7日(日)
紙の素地に華やかなお花見の様子を精緻に表します。着物の柄にも注目です

(部分)

今年もゆったりと 春の庭園開放



本館北側の庭園を長めに開放します。ソメイヨシノ、オオシマザクラ、枝垂れのエドヒガンザクラなど、約10種類の桜が次々と開花するので、比較的長く花をお楽しみいただけます。期間中は庭園内に「さくらカフェ」もオープン。池のほとりのベンチに腰掛けゆっくりお過ごしいただけます。



庭園内にある茶室「春草廬」は、実業家で茶人としても著名な松永安左衛門(耳庵)が、同じく実業家で茶人・コレクターとしても知られる原三溪から贈られたものを移築しました。花とともに、由緒ある建物を外からご覧いただけます(お茶室の中には入れません)。

3月12日(火)～5月19日(日) 10:00～16:00
3月22日(金)、23日(土)、3月29日(金)、30日(土)はライトアップを実施、19:30まで
*悪天候により中止になる場合があります。



3室

青年は人生をおうかする

おいのさか図

鎌倉時代・14世紀
展示期間：3月12日(火)～4月21日(日)
人の一生を山登りに例えた作品。桜は青年期を表しています



7室

桜の下で雅に舞う

舞楽図屏風

狩野永岳筆 江戸時代・19世紀
展示期間：3月12日(火)～4月21日(日)
京都御所の障壁画制作も行った狩野永岳が、春の景色を背景に舞楽を描いています

桜の街の音楽会

「東京・春・音楽祭」(14ページ)参加アーティストによる無料のミニコンサートです。

3月15日(金) 13:00 本館前庭
Vive! サクソフオーン・クワレット(サククス四重奏)

3月27日(水) 13:00 本館エントランス
土岐祐奈(ヴァイオリン)

4月2日(火) 14:00 法隆寺宝物館エントランスホール
坂東真奈美(ヴァイオリン)&黒川実咲(チェロ)

料金: いずれも無料(ただし当日の入館料は必要です)
主催: お問合せ・東京・春・音楽祭実行委員会
電話: 03-5205-6497
http://www.tokyo-hansai.com/

ポランテアによる「応挙館桜茶会」事前申込制

庭園の応挙館でお茶を召し上がっていただきます。

日時: 3月24日(日) ①11:00～12:00 ②13:00～14:00(各回とも同じ内容)
定員: 各回15名 参加費: 500円別途、当日の入館料が必要

*悪天候の場合は中止することがあります。*事前申込 応募者多数の場合は抽選。
*詳細↓13ページ

ポランテアによる「草庵茶室」内部までご案内します。事前申込制

通常のガイドツアーでは入らない「二六窓」(二軒合庵)の内部までご案内します。

日時: 3月21日(木) 祝 11:00～12:00 定員: 16名
*悪天候の場合は中止することがあります。*事前申込 応募者多数の場合は抽選。
*詳細↓13ページ

ポランテアによる「アートスタジオ」桜の根付作り 事前申込制

展示室で根付の展示を見学した後、桜をテーマにオリジナルの根付を制作します。

日時: 3月23日(土) 13:30～15:30 対象: 高校生以上

*事前申込、応募者多数の場合は抽選。*詳細↓13ページ

上杉家の一大コレクション一挙公開

特集 上杉家伝来の 能面・能装束

本館
特別1室・特別2室
1月29日(火)
3月31日(日)



能面 大悪尉

「福来作」銘 上杉家伝来
江戸時代・17～18世紀
威厳ある神々や仙人の役などに用います。宝生家の名物面の写しです



法被 縹地檜垣
瓢箪模様

上杉家伝来 江戸時代・18世紀
瓢箪の模様は武家で好まれました。武将を演じる際の装束です



唐織 金地松帆船模様

上杉家伝来 江戸時代・18世紀
金地の豪華な唐織。能装束に財を投じたことがうかがえます

江戸時代、大名たちにとって能はたしなみであり、楽しみでもありました。今回は米沢藩上杉家歴代藩主が集め、使った能面、能装束をご紹介します。

上杉家の能道具コレクションの多くは18世紀頃の作です。当時の米沢藩は財政難。名君として知られる9代藩主・治憲(鷹山)が大倅約令を断行し藩政復興に努めていた頃です。しかしその間、なぜか上杉家の能道具は急増しているのです。懸命な財政改革の裏で、隠居した8代藩主・重定は大金を注いで能道具を集め、能を楽しんでいました。自身も倅約につとめた鷹山も、重定の贅沢はいさめなかつたようです。その結果築かれたともいえる上杉家のコレクション。この機会にじっくりご覧ください。(川岸瀬里)

文化財を次世代に伝えるために

特集 東京国立博物館 コレクションの保存と修理

平成館
企画展示室
3月12日(火)
4月7日(日)



土偶形容器

長野県上田市腰越出土
弥生時代(前期)・前4～前3世紀
下村市之助氏・下村五郎氏寄贈
頭でつちかな頸の接合箇所が緩んでいたため、修理し補強しました



コート
濃紺ヴェルヴェット地
花卉文様金銀糸刺繍

インド・ジャイプール 19世紀
マッド・シーン2世着用
襟元の裂けや刺繍糸のぼつれなど、必要に応じて解体し補修しました



瑞花双鳳八花鏡

千葉県成田市西大須賀字谷津
谷津経塚出土
平安時代・12世紀
浅野辰之助氏・櫻井佐氏寄贈
大きく三つに割れていた鏡を接合し、欠けた部分を補い復元しました

当館は約11万7千件ものコレクションを所蔵しており、展示室や収蔵庫内の環境を管理しながら、必要に応じて修理を行うことで作品の状態を維持しています。

この特集では、これまでに修理した作品を展示し、修理方法の解説などを添えて、文化財を長く伝えていくための当館の取り組みをご紹介します。

今回は昨年修理を終えたものを中心に、異国との交流を彩色豊かに描いた「南蛮屏風」や、中世前期の禅僧・夢窓疎石の墨跡「杜甫詩」、インドのマハラジャが着用したとも伝えられる「コート濃紺ヴェルヴェット地花卉文様金銀糸刺繍」など10件の作品を展示いたします。美しさを取り戻した作品を是非ご覧ください。(宮田将寛)

Pick up!

本館

一休さんの個性ゆたかな作風

杜甫騎驢図賛

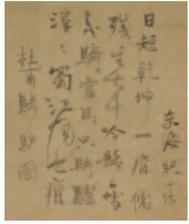
2月5日(火)～3月10日(日)

3室 禅と水墨画

やせた驢馬にまたがるのは唐代の詩人杜甫です。杜甫は若いころから中国各地を放浪し、安祿山の乱にも巻き込まれるなど、漂泊の人生を送りました。不遇の中から多くの名詩が生まれました。日本では杜甫の境涯を表わす図像として、驢馬に乗った姿「騎驢図」が流行しました。中世の禅僧瑞溪周鳳は「驢馬は窮迫した人が使うもので、詩人が多く乗っている」と言っており、杜甫や同時代の賈島の名をあげています。

上部の賛は、この杜甫の姿に着想を得た一休宗純の詩で詩集『狂雲集』にも収められています。官職に恵まれないまま年老いた杜甫の姿を描いています。

(田良島哲)



(部分)

杜甫騎驢図賛

一休宗純筆
室町時代・15世紀
広田松繁氏寄贈
書画に優れ、狂歌が巧みな一休宗純が、騎驢図に詩を書き加えた作品



本館

上級武士の胴丸の典型作

重文 黒韋肩妻取威胴丸

3月12日(火)～6月2日(日)

5室 武士の装い



本作は胴丸と呼ばれる甲冑で、兜と大袖を備えた高級品です。全体を構成する三千数百枚の小札(小板)を威す(綴る)威毛には、黒く見えるほど濃い藍色に染められた韋(鞣し革)を主に用い、白糸・紅糸を組み合わせて色彩とデザインに変化を付けています。さらには、獅子と牡丹を表した絵草

◎黒韋肩妻取威胴丸

室町時代・15世紀
日本の甲冑は、様々な素材と工芸技術が結集された総合芸術品です

要所には、獅子と牡丹を表した絵草や、菊花を彫刻した飾金具を配しています。兜は頭頂部がわずかにくぼんだ阿古陀形筋兜といわれるもので、兜正面には鍬形と三鉾柄剣の前立を飾り、着用者の権威と信仰心を示しています。武士の美意識を体現したその造形を、ぜひご覧ください。

(佐藤寛介)

本館

うららかな春の夕暮れ

江戸近郊八景之内・小金井橋夕照

2月26日(火)～3月17日(日)

10室 浮世絵と衣装



江戸近郊八景之内・小金井橋夕照

歌川広重筆
江戸時代・19世紀
夕焼け空に照らされる、のどかな玉川上水の春が描かれている

かね井のさととあります。

(田沢裕賀)

細部の愛らしさのため息

特集 「おひなさまと日本の人形」

2月5日(火)～3月17日(日)

14室

春に恒例のおひなさまの展示。今回は東博の人形コレクションを代表する牙首雛とその御殿を中心、御所人形の名品も織り交ぜ、華やかな展示を行います。



牙首雛

江戸時代・嘉永3年(1850)頃
三谷てい氏寄贈
極めて小さく、精巧に作られたひな人形の名品です

江戸の豪商三谷家に伝来した牙首雛は、象牙で頭部や手足を作り、色とりどりの織物を木目込み細工とした大変に豪華な作品です。このおひなさまには京都御所の紫宸殿を模した御殿が付属しており、その精巧な作りは他に例がないほど見事なものです。また御所人形は極めて大型の作品から手のひらに乗る小さなものまで、さまざまな種類を展示します。おひなさま巡りが盛んな季節、ぜひ東博のお人形たちにも会いに来てください。

(三田覚之)

東洋館

細やかな装飾に注目

白磁円硯

4月21日(日)

5室 中国の陶磁

よく見ると、脚がたくさん付いた奇妙な形。このように、多足でそれらを受ける円環の台を伴った白磁円硯は、隋から初唐にかけて、陝西省西安を中心とした地域の貴人墓から出土します。この作品は墓に納められたものですが、実用にも適うサイズで、細やかな装飾が魅力です。円硯は緑釉や三彩にもみられますが、8世紀初頭を最後に姿を消します。

この展示では、隋にあらわれた白磁の最後の様相を示す作品をまとめて展示いたします。

同時期に開催中の「特集 白磁の誕生と展開」(東洋館5室 墳墓の世界(4月21日まで))とあわせてぜひご覧ください。

(二笠喜景子)



白磁円硯

中国 隋~初唐時代・7世紀
複雑な形をしているのに、とても薄作り。高度な造形技術に基づいています

東洋館

ゴシック体!?
奇抜で親しみぶかい書

楷書九老図記軸

3月5日(火)~4月21日(日)

8室 中国の書跡

白樂天居洛中住者當九老之會其序曰胡吉野鄭宣張六賢皆多事君子次馬儒于東都故居履道坊合城當之會相顧既醉且懼靜而思之此會本有因各賦詩以記之時會昌五年三月二十四日其年又有二老卒兒絕倫歸故鄉次來斯會續會姓名年齒屬其形兒于畫右与岸七老題為九老書 白居易



(部分)
楷書九老図記軸
金農筆 中国 清時代・17~18世紀
青山杉雨氏寄贈
線の太さを一定に
緩急を急書く
緩急を急書く
緩急を急書く
緩急を急書く

まるで活字のゴシック体のような造形です。この斬新で奇抜な書は、清時代18世紀に江蘇省揚州を中心に活躍した書画家、金農が書いたものです。運河の中継点でもあった揚州は物資の集積地として、更に塩業の中心地として繁栄を誇りました。巨万の富を得た塩商はパトロンとなり、揚州には多くの書画家が集まります。そこでもはやされたのが、創造性豊かな奇異に満ちた作風でした。金農は伝統に縛られず、後に注目される石碑の書にいち早く目を向けて制作の糧としたのです。本展はさまざまなスタイルが花開いた明清時代の書をご紹介します。

(六人部克典)

東洋館

特別な香りがする、
犀角の杯で呑みたい!

山水人物彫犀角杯

2月19日(火)~5月12日(日)

9室 清時代の工芸

中国の工芸には牙角彫刻とよばれるものがあり、普通は象牙や犀角を彫刻した工芸品を指しています。いずれも外来の素材として珍重されました。犀角にはしっとりとした艶があつて、象牙などとは異なる質感があります。よくよく調べてみると、犀の角というのは皮膚が固くなったもので、要するにただのイボなのだそう。それ以外にも、犀角には解熱や解毒の効果があるとして、しばしば杯に加工されました。また犀角は香気を豊かにする性質があり、犀角の杯に良い酒を注ぐと特別な香りがするそうです。

(猪熊兼樹)



山水人物彫犀角杯

中国 清時代・18世紀
犀の角の形状を生かした杯で、山水人物の場が彫刻されています

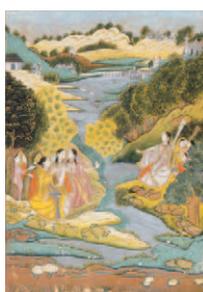
東洋館

彩色豊かな美しい細密画の世界

川岸で音楽を楽しむ女たち

2月13日(水)~3月10日(日)

13室 インドの細密画



川岸で音楽を楽しむ女たち

ムルシダーバード派 インド 18世紀
川の両岸で女たちがそれぞれ楽器を演奏するなど、音楽に興じています

インドでは、インド神話や、シヴァ神、ヴィシュヌ神などのヒンドゥー教の神々、王の肖像や歴史的なエピソード、男女の恋愛などさまざまなテーマを緻密なタッチと鮮やかな色彩で描いた、細密画とよばれる絵画のジャンルが発達しました。多民族国家であるインドでは、細密画の表現も地域によってさまざまです。今回は、デカン高原一帯で活躍したデカン派とムガル帝国を中心に活躍したムガル派の作品を展示します。いずれもイスラム教徒の多い地域です。ヒンドゥー教徒の多い地域とは異なる細密画の世界をぜひお楽しみください。

(勝木言一郎)

総合文化展 **Pick up!**



平成館

優美さを備えた堂々たる姿

重文 **突線鈕5式銅鐸**

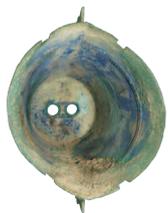
通年展示
考古展示室

大岩山1号鐸と呼ばれるこの作品は、明治14年(1881)に滋賀県野洲市に所在する大岩山の中腹から偶然発見された14個の銅鐸の一つです。現存する日本最大の銅鐸で、鱗(画像 矢印部)を立てた横倒しの状態で出土したと伝えられ、内部に残る土の堆積状況もこれを裏付けています。

銅鐸とは、弥生時代を代表するまつりの道具の一つです。当初は20センチ前後の大きさで、吊り下げて振り鳴らす「かね」として誕生しましたが、後に音を奏でることのない大形で装飾性のきわめて高い祭器へと変化を遂げました。(品川欣也)



◎**突線鈕5式銅鐸**
滋賀県野洲市小篠原字大岩山出土
弥生時代(後期)・1~3世紀
日本最大の銅鐸で、最も新しい段階の銅鐸です



↑ 内面の錆や堆積した土は、この銅鐸が埋納された当時の様子を今に伝えています

法隆寺宝物館

自筆の署名に心ときめく

書跡—国宝 法隆寺
献物帳と古記録—

2月24日(日)
第6室

法隆寺宝物館第6室の壁側のケースでは、法隆寺に伝わった奈良時代から江戸時代までの記録をご紹介します。



◎**法隆寺献物帳** 奈良時代・天平勝宝8年(756)
巻末にある味わい深い「仲麻呂」の直筆サイン

「法隆寺献物帳」は、天平勝宝八歳(756)、崩御した聖武天皇の遺品を皇女・孝謙天皇が法隆寺に献納したときの目録です。目録の最後には藤原仲麻呂(恵美押勝)など5人による直筆の署名も入っており、文章の上には書き換えられないように「天皇御璽」印が18顆捺される貴重な記録です。

そのほか、聖徳太子の秘伝などを記した「古今目録抄」や、法隆寺の経営までわかる「嘉元記」などから、各時代の法隆寺の様相をご覧ください。(恵美千鶴子)

黒田記念館

明治画壇を牽引した
日本人画家の師

特集「ラファエル・コラン
と黒田清輝」

4月14日(日)
黒田記念室

甘美な女性像を得意としたフランスの画家ラファエル・コラン(1850~1916)は、黒田清輝ら日本近代の洋画家がフランス留学中に師事した人物として知られています。黒田が所蔵していたコランの下絵類が当館に寄託されたのを機に、その一部を展示します。明治34年(1901)の白馬会展の折、黒田の作品とともに腰部を隠して展示されたヌードデッサンも含まれており、日本近代美術を語る上で興味深い作品群といえるでしょう。あわせてコランの影響が色濃くみられる黒田の作品も展示します。



オペラ・コミック座天井画
「虚構に生気を与える真実」のための素描(1)
ラファエル・コラン筆 1898年頃 個人蔵(黒田清輝旧蔵)
明治時代の日本では裸体面の展示が公序良俗に反するとされ、この作品も腰部を隠して展示されました

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報 51

さまざまな修理
技術を結集して

多くの文化財修理は一つの専門分野の技術者によって修理が行いますが、作品によっては、専門が異なる複数の技術者がチームを組んで修理に臨みます。

僧侶、河口慧海(1866~1945)がインド・ネパール・チベットで収集し、標本箱へ整理した蒐集品資料は、長年の汚れと虫損による損傷が著しく、展示や輸送が困難な状態だったため、解体修理を実施しました。この作品は、木、金属、石、布紙などの多様な素材で構成されているため、装う洋紙、立体物などを専門とする複数の技術者によって半年をかけて修理が行われました。幅広い文化財を収蔵している当館では、館内外のさまざまな専門の修理技術者と協力し、安全に保存展示ができるよう取り組んでいます。(野中昭美)



修理された河口慧海蒐集品資料
(密教法具・儀式風俗その他)
本作品の展示予定はありません

3月 示案内

- 1-1: 日本美術のあけぼの一縄文・弥生・古墳
- 1-2: 仏教の興隆—飛鳥・奈良
- 2: 国宝室
- 3-1: 仏教の美術—平安～室町
- 3-2: 宮廷の美術—平安～室町
- 3-3: 禅と水墨画—鎌倉～室町
- 4: 茶の美術
- 5-6: 武士の装い—平安～江戸
- 7: 屏風と襖絵—安土桃山・江戸
- 8-1: 暮らしの調度—安土桃山・江戸
- 8-2: 書画の展開—安土桃山・江戸
- 9: 能と歌舞伎
- 10: 浮世絵と衣装—江戸
- 11: 彫刻
- 12: 漆工
- 13-1: 金工
- 13-2: 刀剣
- 13-3: 陶磁
- 14: 特集
- 15: 歴史の記録
- 16: アイヌと琉球
- (17: 保存と修理)
- 18: 近代の美術

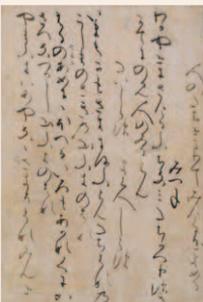
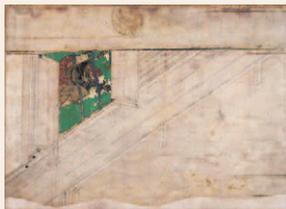


2/5(火)-3/10(日)

3-2

◎狭衣物語絵巻断簡

鎌倉時代・14世紀
才色兼備の貴公子と姫君の悲恋を題材とした『狭衣物語』を描いています



3/12(火)-4/21(日) 古今和歌集(了佐切)

藤原俊成筆 平安時代・12世紀
小山やす子氏寄贈
元は冊子本であった『古今和歌集』の断簡。歌人・藤原俊成の独特の筆致がよく表れています

本館 2F: 1~10

-6/23(日)

1-1

埴輪 踊る人々

埼玉県熊谷市
野原古墳出土
古墳時代・6世紀



袈裟禪文銅鐺

和歌山県日高町前木字向山出土
弥生時代(後期)・1~3世紀
弥生時代の優れた鍛造技術を反映した均整のとれた形と繊細な文様です



-4/21(日)

1-2

◎興福寺鎮壇具瑞花双鳳八花鏡

奈良市興福寺中金堂須弥壇下出土
唐時代・8世紀



3/12(火)-4/21(日)

註楞伽經断簡

奈良時代・8世紀 植村和堂氏寄贈
大ぶりに書かれた大字経で、奈良時代大字写経の名品



2/5(火)-3/10(日)

3-3

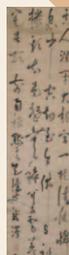
杜南騎驢図賛

一休宗純筆
室町時代・15世紀 広田松繁氏寄贈
→7ページ



3/12(火)-4/21(日) 偈頌

天隠龍沢筆 室町時代・15世紀
七言絶句を4行に書いた大作で、当時の墨跡としては珍しい形式。書風から晩年の筆と見られます



2/13(水)-3/10(日)

2

◎山越阿弥陀図

鎌倉時代・13世紀
京都・禅林寺蔵
西方浄土の風景ではなく、日本の山水風景を描いて、この世が浄土である事を示しています



2/5(火)-3/10(日)

7

雪景山水図(旧 帰雲院障壁画)

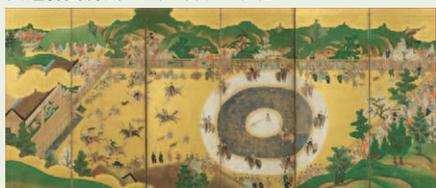
円山応挙筆
江戸時代
天明7年(1787)
川崎武之助氏寄贈
応挙54歳、絶頂期の作で、もと京都・帰雲院(南禅寺塔頭)の障壁画です



(部分)

3/12(火)-4/21(日)

◎犬追物図屏風



(右隻)



-3/31(日) 灰被天目

中国 南宋～元時代・13~14世紀
広田松繁氏寄贈
鉄釉を二重に掛けた天目。侘びた景色が日本の茶人に好まれました



青磁尊形花入

中国 龍泉窯 毛利家伝来
南宋～元時代・13世紀

3/12(火)-4/7(日)

◎花下遊楽図屏風

狩野長信筆
江戸時代・17世紀
→5ページ



(左隻部分)

3/12(火)-6/2(日)

5-6

◎黒章肩妻取威胴丸

室町時代・15世紀
→7ページ



-3/17(日)

◎刀 無銘 伝長船元重

伝長船元重
南北朝時代・14世紀
徳川家康の次男 結城秀康が用いたもので、鞘は鮮やかな朱漆としています



◎朱漆打刀(◎刀 無銘 伝長船元重の拵)

安土桃山~江戸時代・16~17世紀



2/5(火)-3/10(日)

3-1

◎仏涅槃図

鎌倉時代・14世紀
お釈迦様の死の場面を描いたもの。報恩のための涅槃会で使われました



3/12(火)-4/21(日)

◎阿字曼荼羅図

南北朝時代・14世紀
岡崎正也氏寄贈
密教で、煩惱を消していくための瞑想修行に用いられる画像です

-4/21(日)

8-1

色絵桜樹図皿

鍋島
江戸時代・18世紀
→3ページ



◎枝垂桜蒔絵漆

江戸時代・17世紀 広田松繁氏寄贈
一本の桜の樹を器表全体に巧みに配っています
→5ページ



2月
本館展

-2/17日

13-2

◎太刀 長船景光

鎌倉時代・延慶2年(1309) 宮腰巴夫氏寄贈



2/19日-5/12日

◎刀 相州正宗(名物 観世正宗) 鎌倉時代・14世紀

正宗は14世紀の神奈川県刀工で、沸とよばれる輝く粒子によって刃文を焼いています



-3/17日

13-3

色絵梅竹虎文皿

伊万里 (柿右衛門様式) 江戸時代・17世紀



◎色絵月梅図茶壺

仁清 江戸時代・17世紀

野々村仁清は、京焼を代表する陶工の一人。得意の轆轤技術と見事な構図の月梅図が見どころの優品です



2/5日-3/17日

14

牙首籠

江戸時代・嘉永3年(1850)頃 三谷てい氏寄贈 →7ページ



紫宸殿(雑用御殿)

江戸時代・嘉永3年(1850)頃 三谷てい氏寄贈

京都御所の正殿、紫宸殿にない作られた雑用の御殿。細部まで精巧に再現しています



-2/24日

15

江戸城本丸大奥総地図

江戸時代・19世紀



2/26日-4/21日

禽譜 山禽1

堀田正教編 江戸時代・18~19世紀

鳥を水・原・林・山禽に分類し、一種ごとに彩色図と解説文を貼り込んでいます



-2/24日

16

木綿衣

北海道アイヌ 19世紀

ウーン万国博覧会事務局引継



シトキ(首飾)

北海道アイヌ 19世紀

木製平玉を連ね、下部には木芯真鍮飾りの円盤がついています



3/5日-4/14日

-3/3日

◎弱法師

花下薩鯉 飯島光嶺筆

明治7年(1874) →4ページ



下村観山筆 大正4年(1915)

盲目の俊徳丸が、梅の花の咲く四天王寺の庭で、落日に向かって挿入しています



(部分)

-2/24日

10

浮世絵

見立桃園三傑図

蹄齋北馬筆 江戸時代・19世紀

『三国志演義』で劉備、関羽、張飛が義兄弟の契りを結ぶ場面の見立になっています



2/26日-3/17日

江戸近郊八景之内・小金井橋夕照

歌川広重筆 江戸時代・19世紀

→7ページ



-2/24日

10

衣装

打掛 白縷子地貝橋模様

江戸時代・18世紀

貝合せの模様は貝を一組に「合わせる」ことから婚礼に好まれた模様

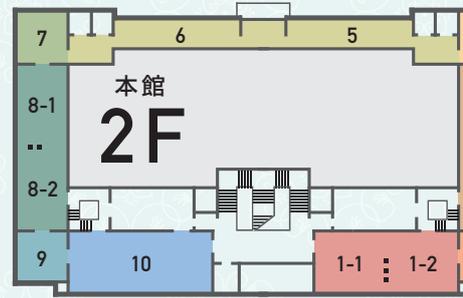


2/26日-4/21日

播取 桃色縮緬地浦桜竹模様

江戸時代・18世紀

本館 1F: 11~16, 18



-4/14日

11

吉祥天立像

京都府亀岡市・大宮神社伝来 平安時代・10世紀

インド神話に由来する福徳をつかさどる女神。1本の木から彫り出す、重量感あふれる表現がみどころです



蔵王権現立像

鎌倉時代・12~13世紀

-2/24日

8-2

紅梅精図

佐竹義躬筆 江戸時代・18世紀

寒中の花である梅と椿を陰影法などの西洋技法によって描いた作品です



2/5日-3/10日

調度手本(今川了俊教訓)

八条宮智仁親王筆 江戸時代・17世紀

八条宮智仁親王筆 江戸時代・17世紀



(部分)

-3/31日

12

◎片輪車蒔絵螺鈿手箱

平安時代・12世紀



◎舞楽蒔絵硯箱

伝本阿弥光悦作 江戸時代・17世紀

主題の選択や構図、材料の使い方がいかにも本阿弥光悦らしい



-4/7日

13-1

金銅五鈎杵

平安時代・12世紀



金銅五大明王五鈎鈴

中国 唐時代・8世紀

振り鳴らした音で人々の内に眠る仏心を覚ます鈴。5種の憤怒神を表しています



-2/24日

9

唐織 緑紅茶段

青海波花熨斗扇

夕顔模様 上杉家伝来

江戸時代・18世紀

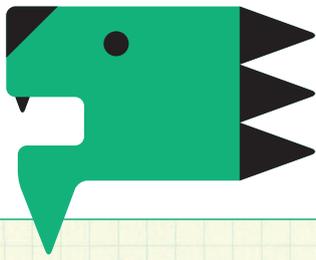
扇は「末広がり」であることから日本では吉祥模様とされました



2/26日-4/21日

厚板 紺茶段藤棚模様

上杉家伝来 江戸時代・18世紀



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

月例講演会／連携講演会「王羲之書法の残影—唐時代への道程—」

*関連展示：本誌2ページ

日時：2月2日(土) 13:30～15:00

講師：鍋島稲子(台東区立書道博物館主任研究員)、
富田淳(当館学芸企画部長)

中国の歴史上、東晋と唐は書のレベルが最高峰に到達しました。双方の架け橋となる南北朝の書の流れを概観します。特別展「顔真卿」のプロローグです。

月例講演会「子供の姿とお人形—日本美術における子供の表現—」

*関連展示：本誌7ページ

日時：3月2日(土) 13:30～15:00

講師：三田覚之(工芸室研究員)

御所人形に代表される可愛いお人形はどのように生まれたのか。実際の子供や日本美術で表現されてきた子供の姿などから、その造形美を考えます。

*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料(ただし当日の入館料が必要)

*開場は開始の30分前(予定)

ギャラリートーク

南北朝時代の書—東晋と唐の架け橋—

日時：2月19日(火) 14:00～14:30 東洋館8室

講師：六人部克典(登録室研究員)

南と北で異なる趣の書が発展した中国・南北朝時代の書の流れをご紹介します。

経塚の世界

日時：2月26日(火) 14:00～14:30 平成館考古展示室

講師：飯田茂雄(考古室アソシエイトフェロー)

仏教の末法思想の考えに基づき作られた経塚。書写した経典とともに、鏡や刀子など様々なものが副納されました。時代背景とともに経塚の魅力をご紹介します。

X線CT装置の保存修理への活用

*関連展示：本誌6ページ

日時：3月19日(火) 14:00～14:30

本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師：宮田将寛(調査分析室専門職)

通常では見ることの出来ない文化財の内部を調査し、保存・修理に貢献している、当館のX線CT装置の活用事例をご紹介します。

修理後作品の見どころ紹介

*関連展示：本誌6ページ

日時：3月26日(火) 14:00～14:30 平成館企画展示室

講師：土屋裕子(保存修復室長)

特集「東京国立博物館コレクションの保存と修理」の展示作品すべての修理のポイント、仕上がりの見どころなどを、保存修復担当の見地からお話します。

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク

「色絵月梅図茶壺」の魅力に迫る

日時：2月2日(土)、2月6日(水) 各回15:30～15:50

解説：倉澤佑佳(美術研究科芸術学専攻 工芸史研究室)

本館13室

野々村仁清の「色絵月梅図茶壺」の魅力、色絵と技法を中心にをご紹介します。

ART
2

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー

ワークショップ

日本文化との出会い「書体験」

日本文化を代表する書に親しむ第一歩。トーハク所蔵の作品をお手本に、きれいな色紙に一字、筆ペンで書いてみましょう。書く体験をしたあとは、もっと楽しく書を鑑賞できるはず。

日時：2月5日(火)～2月24日(日) 11:00～16:30 (受付は～16:00)

会場：本館2階ラウンジ

定員：各日200名

参加費：100円(ただし、高校生を除く18歳以上、70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

*当日受付。事前申込は不要です。



事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ひいな遊び—立雛を作ろう!—

ひなまつりの伝統は、平安時代頃から行われた「ひいな遊び」にさかのぼります。今回のワークショップでは当館所蔵の「立雛」をモデルに、頭をつけて顔を描き、きものにする料紙(文様のある和紙)を摺って、自分オリジナルのお雛さまを作ります。

日時：2月23日(土) ①10:00～12:30 ②14:00～16:30

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：①小学生～中学生とその保護者 ②高校生以上

定員：①10組 ②20名(いずれも応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームからお申込みください。

*①は1組5名まで(ただし、1組で1対制作)、

②は最大2名まで申込可

申込締切：①②ともに2月7日(木)必着

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) 教育普及室



古式立雛 江戸時代・17～18世紀
展示期間：2月5日(火)～3月17日(日)
本館14室

*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。

実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先にお電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111(代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

*👉は「ヒアリンググループ」対応、🗣️は「UDトーク」対応のイベントです。

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

桜の根付作り

本館10室と高円宮コレクションの根付を見学した後、粘土を加工して桜をテーマにオリジナルの根付を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日時：3月23日(土) 13:30~15:30

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：高校生以上

定員：20名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームから往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合は、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

*1枚のはがきで2名まで申込可

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「3月23日桜根付」係

申込締切：2月20日(水)必着

事前申込制 [往復はがき]

庭園茶室ツアー

草庵茶室に入ってみよう!

庭園内にある茶室の見どころについて解説します。通常のガイドツアーでは入らない「六窓庵」「転合庵」の内部までご案内します。

*悪天候の場合は中止することがあります

日時：3月21日(木・祝) 11:00~12:00



定員：16名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

*1枚のはがきで2名まで申込可

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「3月21日草庵茶室」係

申込締切：2月18日(月)必着

事前申込制 [往復はがき]

応挙館での茶会

応挙館桜茶会

庭園の応挙館でお茶会を体験していただきます。建物、および円山応挙によって描かれた障壁画などについてもあわせてご紹介します。

*悪天候の場合は中止することがあります

日時：3月24日(日) ①11:00~12:00 ②13:00~14:00

(各回とも同じ内容)

定員：各回15名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：500円(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号、(4)希望の回(①②いずれか)、(5)座いすが必要な方はその旨を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

*1枚のはがきで、①②のどちらか一方、2名まで申込可

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「3月24日応挙館桜茶会」係

申込締切：2月25日(月)必着

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室



ユリノキちゃんがナビゲート! 美しい庭園の桜

本館北側の庭園は、実は桜の名所。約10種類の桜が次々と開花するこの季節は、散策にぴったりです。今回は、庭園に詳しいユリノキちゃんをご紹介します。

ねえ見てユリノキちゃん!
2018年に庭園で撮った記念写真!



わあキレイ!
池と本館の間にあるオオシマザクラね。

ほ〜、さすが秀才。
桜の名前もよく知ってるんだほ〜。じゃあこれは?



ベンチがあるエリアのすぐ右脇にあるヤエベニヒガン。お花は小ぶりだけど、花びらのピンクのグラデーションがとっても可愛い。開花期は4月上中旬よ。

く、くわしい…。むむ、じゃあこれは?

ああ、これはレストランゆりの木側の庭園入口近くにあるミカドヨシノね。開花期は4月上旬ごろ。エドヒガンと、さっき出てきたオオシマザクラを交配させた品種と言われているわ。



ん〜、ちょっとなに言ってるかわからないほ。どれとどれのこと?

もお〜。
本館前のこの2つの桜、毎年見てるでしょ?



ほお〜! この2つがかけ合わさって出来たなんて、知らなかったほ!

えっへん。

これはライトアップされてるんだほ?
夜桜は、昼間とは違った「食い気」があるね。

それを言うなら「色気」でしょ…。でもそうね、水に映った桜もまた風情があるわね。今年も庭園ライトアップを実施する予定なのよ。詳しくはトナーハクのウェブサイトをチェックしてみてね。

じゃあ最後にちょっと難しい問題、これなーんだ?



えっ? こっ、これはねえ…、えっと、なんだったかしら、ケンロク…

みなさんも、庭園入口で配布しているマップを見ながら散策してみてくださいほー!

答えを教えてー!!

東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2019-

2009年から引き続き「ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.42 ~46」をお届けします

- ① 東博でバッハ vol.42 豊嶋 泰嗣 (ヴァイオリン) & 中野 振一郎 (チェンバロ)
日時: 3月20日 (水) 開演 19:00 開場 18:30
- ② 東博でバッハ vol.43 小林 美恵 (ヴァイオリン)
日時: 3月23日 (土) 開演 14:00 開場 13:30
- ③ 東博でバッハ vol.44 伊東 裕 (チェロ)
日時: 3月26日 (火) 開演 19:00 開場 18:30
- ④ 東博でバッハ vol.45 石川 滋 (コントラバス)
日時: 4月3日 (水) 開演 19:00 開場 18:30
- ⑤ 東博でバッハ vol.46 上野 通明 (チェロ)
日時: 4月11日 (木) 開演 19:00 開場 18:30

会場: ①② 平成館ラウンジ ③④⑤ 法隆寺宝物館エントランスホール
料金: ①③④⑤ 3,600円 ② 5,200円 (各回全席自由)

〈チケットのお求め方法〉

東京・春・音楽祭チケットサービス

(ウェブサイト <http://www.tokyo-harusai.com/> TEL: 03-6743-1398) ほか

主催・お問合せ: 東京・春・音楽祭実行委員会 (TEL: 03-5205-6497)

東京・春・音楽祭 夜の音めぐり~桜の街の音楽会スペシャル

夜のトールハクを「東京・春・音楽祭」参加アーティストの織り成す音色で彩ります。

日時: 3月8日 (金) * 各回 15分程度

16:00 ~ Live! サクソフォーン・クワルテット (サクソス四重奏) 本館前庭

16:40 ~ 加藤えりな (ヴァイオリン) 東洋館1室

17:30 ~ 豊永美恵 (クラリネット) 本館エントランス

18:30 ~ 加藤えりな (ヴァイオリン) & 竹内真紀 (ピアノ) 平成館ラウンジ

19:30 ~ 豊永美恵 (クラリネット) & 竹内真紀 (ピアノ) 法隆寺宝物館エントランスホール

料金: 無料

(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

主催・お問合せ: 東京・春・音楽祭実行委員会 (TEL: 03-5205-6497)

日曜・祝休日の閉館時刻変更について

2019年4月より、日曜・祝・休日の閉館時間は通年17時となります。ご注意ください。

世界キャラクターさみっと in 羽生 2018 参加報告

2018年11月24日 (土)、「世界キャラクターさみっと in 羽生 2018」に参加してきました。今年はPRステージ参加とワークショップ「もようスタンプでポストカードをつくらう」を実施し、たくさんのお客様に楽しんでいただきました。



子どもたちに大人気でした!

トールハク所蔵品が成田空港の壁面デザインに!

成田国際空港第1ターミナル地下コンコース (出国手続き前エリア)の壁面に、トールハク所蔵品をあしらった、心躍る空間が誕生しました。成田国際空港株式会社、スリーエム ジャパン株式会社様とのコラボレーションで、当館の日本美術を代表する12件の名作が、コンコースの壁面および天井面にデザインされています。第1ターミナルにお越しの際は、北ウイング・南ウイング連絡通路もあわせて、是非ご注目ください!



東京国立博物館賛助会

賛助会は博物館事業の充実のために幅広くご支援をいただくための制度です。

- ◎年会費 : (団体) プレミアム会員 100万円以上/特別会員 100万円/維持会員 20万円
(個人) プレミアム会員 100万円以上/特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎申込方法 : 当館窓口、当館ウェブサイト (クレジットカード決済)、銀行振込

◎お問合せ : 電話 03-3822-1111 (代) 総務課賛助会担当 ◎主な特典 : 特別展内覧会へのご招待など

東京国立博物館賛助会員 2018年12月31日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社 毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞東京本社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
公益財団法人 東芝国際交流財団 様

日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロン・ド・ソネット 様
TABIZURU FOUNDATION 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協会 様
株式会社 東京書芸館 様
株式会社 三美テックス 様
キヤノン株式会社 様

維持会員 団体

株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 美術品事業部 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナカホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝学院 様

有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットインシアティブ 様
株式会社 小西美術工芸社 様
有限会社 ギャラリー・竹柳堂 様
株式会社 伸仲社 様
株式会社 モリサワ 様
AM開発有限公司 名古屋支店 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスバウハウズジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キッコーマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様

朝陽書道会 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
株式会社 清光社 様
一般社団法人 学芸会 様
公益財団法人 書道芸術院 様
アズビル株式会社 様
セコム株式会社 様
株式会社 ニッセイコム 様
金剛株式会社 様
株式会社 ロイスダール 様

株式会社オカムラ 様
株式会社 GIC ジャパン 様
公益財団法人 アガヒ伝木版画技術保存財団 様
エクスロ・インターナショナル株式会社 様
正筆会 様
はごろもフーズ株式会社 様
有限会社 くんかんパニー 様
株式会社 目の眼 様
株式会社 前田酒店 様
株式会社 サザンプランニング 様

個人

プレミアム会員
若岡良孝 様
井茂圭河 様
高木千鶴子 様
黒田賢一 様
特別会員
永久幸範 様
辻泰二 様
佐久間基晴 様
井田悦郎 様
大山孝良 様
田中三伊 様
田中御津子 様
増山育男 様
維持会員
伊藤信彦 様
数内匠人 様
服部悦子 様
岩沢重美 様
高田朝子 様
齋藤京子 様
齋藤邦裕 様
和田喜美子 様
藤原匡人 様
中川俊光 様
関谷徳衛 様
高橋守 様
小澤桂一 様
上久保のり子 様
柳田良豊 様

東野 治之 様
竹下佳宏 様
野澤智子 様
坂田浩一 様
池谷正夫 様
木谷駿二郎 様
渡辺 哲也 様
今里 美幸 様
飯田 敬子 様
寺浦 信之 様
高木美華子 様
吉原知夫 様
古原光夫 様
根田穂美子 様
松本 澄子 様
池嶋 洋次 様
是常博 様
上野 孝一 様
山田 泰子 様
柴田 隆子 様
齋藤 幸二 様
白井 生三 様
津久井 秀郎 様
杉田 純一 様
神通 豊 様
神通 豊一 様
石川 公子 様
永田実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様

田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
北川 洋子 様
相良 多恵子 様
鈴木 徹 様
今里 美幸 様
加藤 孝明 様
伊佐 健二 様
軽部 由香 様
山内 和世 様
木越 純 様
井上 保 様
田中 信 様
古川 晴紀 様
新関 日出夫 様
岩本 光雄 様
山本 隆幸 様
山 知子 様
名取 幸二 様
増尾 信義 様
要 英範 様
安田 裕 様
筑紫 みづえ 様
鳥山 玲 様
栗山 哲夫 様
法橋 建 様
榎本 孝生 様
岡田 良雄 様

樋口 順一 様
吉永 喜代子 様
竹原 鈴子 様
高崎 隆子 様
富山 仁美 様
高山 真行 様
渡辺 菊美 様
鈴木 深泉 様
今村 正 様
福武 正廣 様
竹内 和世 様
岡野 一昭 様
小林 彰信 様
伊藤 浩和 様
加藤 正毅 様
威口 理雄 様
宮下 雅博 様
西村 裕紀子 様
藤谷 隆子 様
長野 幸雄 様
中野 俊介 様
井出 宗則 様
土屋 和彦 様
碓田 幸一 様
加納 華人 様
林 和樹 様
清水 透石 様
野本 隆代 様
佐藤 美善 様
青山 慶生 様

柴 啓介 様
若佐 恵子 様
向山 裕子 様
田中 真知子 様
高田 明典 様
水野 和良 様
竹内 明世 様
平田 泰之 様
羽石 伸之 様
木條 陽子 様
福井 一夫 様
石田 勝生 様
笠原 勉 様
黒河 英俊 様
廣瀬 敬章 様
北田 俊也 様
高見 康雄 様
岩本 みち子 様
堀川 佳津美 様
南 洋子 様
沖 山南 様
北爪 由紀夫 様
伊藤 隆 様
同慶 寛幸 様
桑田 啓一 様
葉田 好文 様
瀨本 靖子 様
大貫 健一 様
石井 延隆 様
佐々木 裕明 様
鶴谷 舞 様

井上 美幸 様
林 大和 様
山崎 成啓 様
和田 佳奈子 様
萩野 美穂 様
長谷 理恵 様
中村 俊之 様
阿部 博志 様
宮崎 文子 様
麻生 正信 様
吉瀬 美紗 様
小川 悠介 様
井上 靖代 様
鈴木 絵美留 様
高橋 康之 様
前田 陽子 様
富士原 亨 様
中田 慶一 様
藤谷 康夫 様
皆川 幸子 様
森山 節子 様
松浦 芳春 様
大西 史子 様
菅原 史詠 様
波瀾 洋子 様
本澤 昌宏 様
荒木 駿 様
青木 茉莉花 様
加治 啓子 様
鈴木 智子 様

ほか178名、3社、順不同



「ネットの声」

昨年(2018)5月、特集「就任100年 帝室博物館総長森鷗外の筆跡」に関するツイッターを見ていると、地味な内容のわりに妙にリツイートが多いことに気づきました。アカウントのプロフィールをながめてみると理由がわかりました。文豪たちを主人公とする、とあるブラウザゲームのプレイヤーの方たちが大半を占めていたのです。数日後、特集を話題にした月例講演会にも、数は少ないながら、その中から聴きに来てくださった方がおられました。SNSの時代になっておもしろく、ありがたいのは、小さな企画でも即時に反応が見えることです。またそれだけに、一方では気の引き締まる思いです。(博物館情報課長・田良島 哲)



時々、ネットの声に耳を傾けます

特別展「国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅」チケットプレゼント

特別展「国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅」(3月26日(火)～6月2日(日)→2ページ)無料観覧券(10組20名様)をプレゼントします。締切は4月10日(水)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

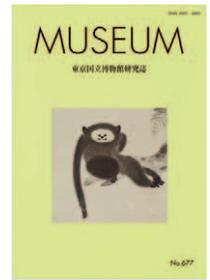
東京国立博物館 広報室「ニュース2-3月号」プレゼント係



「MUSEUM」677号(2018年12月15日発行)の掲載論文

- ①「狩野山雪筆「猿猴図」、その魅力と伝来」
山下善也(九州国立博物館主任研究員)
- ②「『研究ノート』与謝蕪村筆「峨嵋露頂図巻」考」
内山かおる(宮城学院女子大学非常勤講師)
- ③「日中戦争下の山西省太原における博物館保護」
徳永智

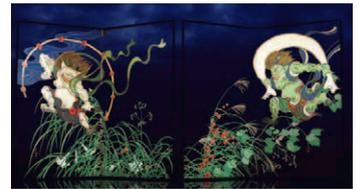
お問合せ：当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(TEL:03-5244-5723)
定価：1,543円(税込)



TNM & TOPPANミュージアムシアター

■VR作品「風神雷神図のウラ —夏秋草図に秘めた想い—」 1月2日(水)～3月24日(日)

自然に翻弄され、雨に濡れ風に揺れる繊細な草花。風の音すら聴こえるような一瞬を切り取った「夏秋草図屏風」を描いたのは、江戸時代後期に活躍した絵師、酒井抱一。抱一晩年の最高傑作である「夏秋草図屏風」は、実はある屏風の“ウラ”に描くよう依頼された作品であることをご存じでしょうか。その屏風とは、抱一が長年憧れを抱き、自らの絵画制作の師と仰いだ名匠の手によるものでした。抱一はどのような想いを込めて、その裏側に「夏秋草図屏風」を描いたのか。バーチャルリアリティならではの視点で、オモテとウラの関係性に隠された秘密を探ります。



料金：一般・大学生・高校生500円、小学生・中学生：300円、未就学児、障がい者とその介護者各1名は無料(1作品/1回あたり)

- *総合文化展とセット購入で一般：1,000円/大学生800円
- *所要時間は約35分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
- *演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
- *詳細はウェブサイト(<http://www.toppan-vr.jp/mt/>)をご覧ください。

東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 金・土曜日は21:00まで
- いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日:

月曜日(祝・休日に当たる場合は開館)

- 2019年3月25日(月)は開館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

- 2019年4月1日(月)は特別展「国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅」会場のみ開館

総合文化展観覧料金:

一般=620(520)円 大学生=410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 2月24日(日)は、総合文化展のみ観覧無料

最新情報は、
ウェブサイト、Facebook、Twitter、
Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>

東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効
年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚と、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等様々な特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効
年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚提供します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効
年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読
年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申し込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は3月10日(日)です。

○申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申し込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度

口座番号:00140-3-791791

- 振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度収められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該目的のみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課会員制度担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

FAX 03-3821-9680

Table with 2 columns: Date (1-28 Feb) and Event details (e.g., 夜間開館, 特別展「顔真卿 王羲之を超えた名筆」, W「書体験」).

Table with 2 columns: Date (1-31 Mar) and Event details (e.g., 夜間開館, 特別展「器を彩る桜—伊万里と京焼」, 「博物館でお花見を」).

【顔真卿】=特別展「顔真卿」関連事業。申込みは締め切りました
*1 = 11:00 ~ 16:30 本館2階ラウンジ
*2 = 詳細は14ページ
*3 = 事前申込制。申込みは締め切りました
*4 = 有料イベント。詳細は14ページ
*5 = 事前申込制。詳細は13ページ

月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展関連事業→2ページ)
G = ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
W = ワークショップ、詳細は本誌12ページ
👶 = 託児サービス実施日(12:30 ~ 15:30) 事前予約制 有料(ただし2/13を除く)
作 = ボランティアによるアートスタジオ 事前申込制 詳細は本誌13ページ ※2/3の申込みは締め切りました
本 = ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所: 本館1階エントランス
浮 = ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所: 本館1階エントランス
陶 = ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所: 本館1階エントランス
彫 = ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所: 本館1階エントランス
樹 = ボランティアによる樹木ツアー、集合場所: 本館1階エントランス
考 = ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所: 平成館考古展示室入口
法 = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所: 法隆寺宝物館1階エントランス

茶 = ボランティアによる応挙館での茶会(※2月は休止します) 集合場所: 本館1階エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、参加費500円、各回先着15名) ※3/24は事前申込制、詳細は本誌13ページ。
庭 = ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所: 本館1階エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、先着18名) ※3/21は事前申込制、詳細は本誌13ページ。
英 = ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所: 本館1階エントランス
庭 = ボランティアによるたでの散歩ツアー、集合場所: 本館1階エントランス
近 = ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所: 本館1階エントランス
刃 = ボランティアによる刃物・武士の装いツアー、集合場所: 本館1階エントランス
東 = ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所: 東洋館1階エントランス(2月は「仏像の旅」、3月は「東洋館ハイライト」をご案内します。ただし、3/24はお花見関連ガイドになります)
藝 = 藝大大学院インターンによるギャラリートーク。詳細は本誌12ページ
※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。